

「仁淀川取水対策費」見直し

質問に「応じる必要はないのでは」
答弁に「不変の約束事 見直す予定はない」



浜田 孝男 議員

仁淀川高知取水に伴い、高知市が町に毎年支払っている750万円以上の「環境保全対策費」を高知市から水事情が大きく変わったことの理解を求め、金額の見直しを迫ってくると思うが、町長の考えは。

池田町長

町は、水に関わり深い製紙が伝統産業であり、仁淀川を「母なる川」として発展してきた歴史と「水」に対する特別な感情がある。

取水の影響を不安視する住民は本当に多く、協定締結までの道のりは非常に険

しいもので、先達の大変なご苦労やさまざまな思いにより交わされた協定書と覚書は大変に重いものであり、不変の約束事であるにとらえている。

以前に「高知取水は、高知市のため、県勢発展のための苦渋の決断だった。見直しの協議を求めてくることは理解に苦しむ」と言及した前町長と私もまったく同じ思いであり、変更などは考えられず、今後も見直しの協議をする予定はない。

この約束事は、協定などを行ったその場限りの一時的なものではなく、高知県を仲介として、高知市もいの町（協定時は伊野町）も双方信義を持って取り交わしたものであり、高知市に対して見直しを行う予定はないと言っていく。



仁淀川取水所の記念碑（音竹地区）

西浦4-1地区「浸水対策の計画」変更

浜田議員

西浦4-1地区の浸水対策が変更されると聞いた。自然流下をあきらめ従来通りのポンプ排水になれば、未来永劫・永遠に町の維持管理に要する費用も続き、地元の方の負担もなくなることはない。知恵を絞り、他の意見を聞いて課題を克服できるよう最善を尽くすべきだ。

尾崎上下水道課長

詳細設計の結果、①現地は道路幅員が狭く、推進工法を施工する立坑の施工ヤードの確保ができない。
②排水先に埋設されているN・Tの通信ケーブルや水道管の基幹管路、既設埋設水路が工事に支障となる。
③家屋移転が必要となり、工事費は2倍、工期も大幅に遅れる。これらにより変更となった。

しかし、維持管理の負担や地元の方の不安は続くので、解消に向けて地下埋設物などの問題も併せて再度検討を行う。

流木を含む土石流対策

浜田議員

平成29年に一般質問を行った九州北部豪雨の被災地へ行政視察を行い、被災内容や問題点など、貴重な体験談を聞き、直接現地も案内してもらった。

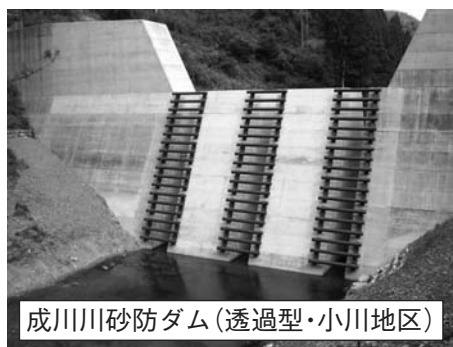
そこで、改めて現在の砂防ダム（えん堤）の維持管理の重要性や透過型（ス

リット型）への改良工事の必要性を認識した。従来の新規要望に加え、維持管理の見直しや改良工事の推進を要望しないか。

水田土木課長

平成29年9月定例会の浜田議員からの一般質問を受けた後に、透過型ダムの導入・流木対策の部分改築を中央西土木に要望した。

結果、既存の砂防ダムを少しずつだが、平成30年度より調査を開始し、順次、流木対策などの部分改修の検討を行うと聞いている。今後も、砂防ダムの流木対策の重要性を鑑み、補助事業制度の拡充・新規創設を国及び県へ要望していく。



成川川砂防ダム（透過型・小川地区）